

空き家の利活用について

平川 博之議員

答 地域住民や専門家と協力し、積極的に取り組む



【平川】 今後も増え続けると想定される空き家について、利活用の現状と今後の方針を問う。

代表、専門家で構成する空き家等対策協議会で議論し、江田島市空き家等対策計画を平成29年4月に策定しました。今後も地域住民や専門家に協力をいただきながら空き家の利活用に積極的に取り組めます。

大柿高校の存続は

【平川】 大柿高校の存続が危ぶまれる中、存続についてどのように取り組んでいくのか。

【教育長】 県教育委員会が策定した「今後の県立学校の在り方に係る基本計

【市長】 平成27年5月の「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行を受け、空き家対策を始めたところです。27年度には、空き家相談窓口を設置、実態調査を行い、空き家と思われる数が、1374戸、空き家率は、13%でした。この調査内容を受け、市民の



▲向側コミュニティホーム (空き家の利活用施設)

画」で、平成29年・平成30年に2年連続で80人未満となった場合、地理的条件などを考慮し、統廃合の対象になることが示されました。現在、大柿高校の生徒数は、1年生31人、2年生19人です。平成30年度新たに入学する生徒は、30人必要です。今年度の入試では、23人が合格しており、目標に達していません。存続については、市長が先

頭に立ち、県知事・県教育長へ事あるごとに要望をしています。今後も市教育委員会と市長部局で連携し、県への働きかけを行っていきたくと考えています。大柿高校の生徒が充実した高校生活を送り、卒業後に自分の夢をかなえることができる高校となるよう、今後も支援をしていきます。



【重長】 本市のスポーツ事業の今後について伺う。

【市長】 昨年4月にスポーツ推進計画を策定しました。今後のスポーツ事業の推進については、この計画を基本とし、行政・市民・スポーツ団体・コミュニケーション組織などと緊密な連携と協力をはかりながら進めて参ります。

【重長】 スポーツ推進計画についての予算措置はどのようになっているのか。

【教育次長】 広範囲にわたる計画なので、それぞれの課が予算措置を行っています。

【重長】 観光事業としてのスポーツイベントの役割



【花野】 太陽光パネルの住宅地での乱立が目立っているように感じるが、市として対策を取るべきでは。

【市長】 近隣住民への配慮、トラブル防止や解決に努めていきます。

【花野】 どのような条件をつけているのか。

【市民生活部長】 新規設置に対しては、補助金を交付するので近隣住民への配慮や市の設置条項や環境省の環境保全対策に関する自治体の取組一例に照らし合わせて指導します。

【花野】 突然隣の空き地に太陽光が設置されたという事のないよう指導を

本市の観光におけるスポーツの位置付けは

重長 英司議員

答 観光とスポーツの連携は欠かすことができないもの

【市長】 平成28年度に策定した市観光振興計画に平成36年には総観光客数を100万人にするという大きな目標を掲げています。これを達成するため「アクティビティに適した環境を持つ江田島」としてのイメージ戦略を考

【重長】 スポーツ事業の事務局体制と今後について伺う。

【市長】 今年度から市体育協会・スポーツ少年団・

e スポーツクラブの3団体の共同事務室の設置や事務作業の共同化などに取り組み、スポーツを通じてまちづくりの推進をはかります。

【重長】 例えばミカンマラソン大会をフルマラソンにする計画はあるか。

【教育次長】 その計画は今のところありません。



▲ヒロシマMIKANマラソン

太陽光発電について

花野 伸二議員

答 生活環境や景観の悪化を招かないよう指導する

【市長】 地場産業の振興は、最重要課題のひとつです。起業支援・販路拡大も含む新商品開発など事業者の使いやすい制度に見直しました。農水産業には経営安定化をはかっています。観光では、観光消費額の増加を目指します。

【花野】 江田島市の地場産業の廃業や倒産がよく見受けられるが、市として対策は。

【市長】 地場産業の振興は、最重要課題のひとつです。起業支援・販路拡大も含む新商品開発など事業者の使いやすい制度に見直しました。農水産業には経営安定化をはかっています。観光では、観光消費額の増加を目指します。

【土木部長】 災害だけでなくインフラ整備等にもなくてはならない存在なので、入札、契約制度の見直しも思い、受注環境を整え建設業者の確保育成を行ってまいります。

【花野】 後継者が育つ環境にしていきたい。



▲太陽光パネル

【花野】 特に、建設業者が激減しているが、災害等の復旧工事の際に困るのは住民なので何か市とし